

研修番号 300 〈機関研修〉 **児童生徒理解研修【子供相談支援センター】**

ねらい 青少年への指導・健全育成、相談活動に従事することを通して、青少年非行の早期発見や青少年自身の抱える悩みや問題行動等について理解を深めます。

対象・定員【希望】 教諭・常勤講師（幼・小・中・高・特） 6名程度

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	6月17日(金) 15:30～16:45	子供相談支援センター	(講義) ・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明、研修内容、機関研修中の勤務について 講師：子供相談支援センター職員	生徒指導・教育相談 児童生徒理解 QJT推進・人材育成 地域連携 ネットワーク
2	7月25日(月) 8:30～17:00		(講義) ・子供相談支援センターの役割と業務について、街頭指導について (現場研修) ・街頭指導 講師：子供相談支援センター職員	
3	7月26日(火) 8:30～17:00		(講義) ・関係機関との連携、青少年健全育成団体などへの支援、相談活動、ふれあい広場について (現場研修) ・ふれあい広場活動 講師：子供相談支援センター職員	
4	7月27日(水) 8:30～17:00		(講義) ・心理判定員の役割、就労支援活動について (現場研修) ・電話相談活動、就労支援活動 講師：子供相談支援センター職員	
5	7月28日(木) 8:30～17:00		(講義) ・広報啓発活動について ・相談活動における事例について (現場研修) ・ふれあい広場活動、電話相談活動 講師：子供相談支援センター職員	

留意点 ・全回連続受講が原則となります。
・研修会場は、全日程「子供相談支援センター」です。駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
・研修日程及び内容については、業務の都合により変更する場合があります。
・子供相談支援センター：仙台市青葉区錦町1-3-9 錦町庁舎2F (214-8602)

連絡先 教育センター (251-7441)

研修番号 301 〈機関研修〉 **児童生徒理解研修【仙台市児童相談所】**

ねらい 児童相談所の役割、機能を理解することによって、学校での児童生徒理解の一助とする。また、一時保護所に入所している児童への学習支援や生活指導を通して、指導力の向上を図ります。

対象・定員【希望】 教諭・養護教諭・事務職員（幼・小・中・高・特） 4名程度

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	6月17日(金) 15:30～16:45	仙台市児童相談所	(講義) ・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明、研修内容、機関研修中の勤務について 講師：児童相談所所員	生徒指導・教育相談 児童生徒理解 QJT推進・人材育成 地域連携 ネットワーク
2	7月25日(月) 8:30～16:45		(参観) ・学習の様子 (講義) ・関係機関との連携 ・児童相談所の現状 他 講師：児童相談所所員	
3	7月26日(火) 8:30～16:45		(実践) ・学習支援 ・集団活動支援 ・自由時間指導 講師：児童相談所所員	
4	7月27日(水) 8:30～16:45		(参観) ・受理会議 (実践) ・学習支援 ・集団活動支援 (講義) ・心理指導係の業務 他 (講話) 学校との連携 講師：児童相談所所員	
5	7月28日(木) 8:30～16:45		(実践) ・特別授業指導 ・集団活動支援 ・自由時間指導 (講話) ・一時保護所の子供たち 講師：児童相談所所員	

留意点 ・全回連続受講が原則となります。
・研修会場は、全日程「仙台市児童相談所」です。駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。
・仙台市児童相談所：仙台市青葉区東照宮1-18-1 (219-5111)

連絡先 教育センター (251-7441)

研修番号 302 〈機関研修〉 **児童生徒理解研修【旗立分教室・さわらび学園】**

ねらい 児童自立支援施設の理念や施設の役割等を理解する。また、入所している児童生徒との関わりを通して、子供を理解することとその指導に係る教員としての力量等の向上を図ります。

対象・定員【希望】 全教職員 A,Bグループ各10名程度

回	実施日時	場 所	内 容	QITに生きる力量
1	6月17日(金) 15:30～16:45	旗立分教室	(講義)・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明, 研修内容, 機関研修中の勤務について 講師: 旗立分教室職員	生徒指導・教育相談 児童生徒理解 QIT推進・人材育成 地域連携 ネットワーク
A 2	7月26日(火) 8:40～16:45	旗立分教室・ さわらび学園	(講義)・児童自立支援施設について ・分教室の教育と施設見学 (実習)・分教室生徒との交流 講師: 旗立分教室職員, さわらび学園職員	
A 3	7月27日(水) 8:40～16:45		(実習)・職場体験発表会 ・陶芸 (講義)・分教室の教育課程, 分教室の生徒指導 他 講師: 旗立分教室職員, さわらび学園職員	
B 2	7月28日(木) 8:40～16:45		(講義)・児童自立支援施設について (実習)・暑中見舞いづくり, スポーツ活動, 分教室生徒との交流 講師: 旗立分教室職員, さわらび学園職員	
B 3	7月29日(金) 8:40～16:45		(講義)・分教室の教育課程, 分教室の生徒指導 (実習)・合同体育, 分教室生徒との交流 講師: 旗立分教室職員, さわらび学園職員	

留意点 ・Aグループは、第1回とA2, A3を受講します。Bグループは、第1回とB2, B3を受講します。

・研修会場は、全日程「旗立分教室とさわらび学園」です。駐車場は敷地内にあります。

・旗立分教室・さわらび学園: 仙台市太白区旗立 24-1 (245-3723)

連絡先 教育センター (251-7441)

研修番号 303 〈機関研修〉 **児童生徒理解研修【適応指導センター「児遊の杜」】**

ねらい 仙台市の不登校児童生徒の現状とその心理を理解し、学校現場における未然防止・早期発見・早期対応に生かします。

対象・定員【希望】 教諭・常勤講師(幼・小・中・高・特) 10名

回	実施日時	場 所	内 容	QITに生きる力量
1	6月22日(水) 16:00～17:00	適応指導教室 「杜のひろば・ 八木山」	(講義)・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明, 研修内容, 機関研修中の勤務について ・施設見学 講師: 適応指導センター所長, 指導主事	生徒指導・教育相談 児童生徒理解 職員間の意思疎通
2	7月25日(月) 9:00～17:00	適応指導教室 「杜のひろば・ 八木山」他	(講義)・仙台市の不登校の現状とその対応について ・「杜のひろば」の児童生徒の現状とその対応について (見学)・「杜のひろば」見学 講師: 適応指導センター指導主事	
3	7月28日(木) 9:00～17:00	教育センター	(見学) ・「杜のひろば」見学 (現場研修 講義)・スポーツ活動 ・体験活動について 講師: 適応指導センター指導主事	
4	7月29日(金) 9:00～17:00	適応指導教室 「杜のひろば」	(現場研修)・「杜のひろば」での実習 他 講師: 教育相談員	
5	8月4日(木) 9:00～17:00	適応指導教室 「杜のひろば・ 八木山」	(講義)・「児遊の杜」の入級児童生徒の現状とその対応について ・関係機関との連携における不登校児童生徒への支援につい て (演習)・ケーススタディ ・所属校における不登校対策を考える 講師: 適応指導センター指導主事	

留意点 ・全回連続受講が原則となります。

・「児遊の杜」及び「杜のひろば」は、来所者駐車場スペース確保のため、駐車場が利用できません。公共交通機関
か有料駐車場を利用してください。

・研修日程及び内容については、業務の都合により変更する場合があります。

・適応指導センター「児遊の杜」: 仙台市泉区七北田字東裏 28-1 (773-4150)

連絡先 教育センター (251-7441)

研修番号 304 〈機関研修〉 **児童生徒理解研修【発達相談支援センター】**

ね ら い 発達障害等により支援が必要な幼児児童生徒に対応する力量の向上を目指し、「発達相談支援センター」での実地研修を通し、その役割や機能を理解するとともに、乳幼児期から成人期までの本人、保護者の生活の現状や支援の考え方、地域の社会資源等について学びます。

対象・定員 【希望】教諭・常勤講師（幼・小・中・高・特） 4名

※ 特別支援教育コーディネーター養成研修修了者が対象です。

回	実施日時	場 所	内 容	QJTに生きる力量
1	6月15日(水) 15:30～16:45	北部アーチル	(講義) ・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明, 研修内容, 機関研修中の勤務について 講師: 発達相談支援センター所員	生徒指導・教育相談 児童生徒理解 QJT推進・人材育成 地域連携 ネットワーク
2	8月2日(火) 8:30～17:00		(講義) ・発達相談支援センターの役割と業務 ・各ライフステージの役割 (協議) ・自己研修課題について 講師: 発達相談支援センター所員	
3	8月3日(水) 8:30～17:00	北部アーチル 南部アーチル	(演習 参観) ・相談業務の実際 ・心理検査場面の実際 (協議) ・相談業務, 心理検査場面の振り返り 講師: 発達相談支援センター所員	
4	8月4日(木) 8:30～17:00	北部アーチル	(体験 協議) ・初期療育の実際と振り返り (講義) ・障害福祉サービスについて 講師: 発達相談支援センター所員	
5	8月5日(金) 8:30～17:00	障害福祉サービス事業所 南部アーチル	(見学) ・障害福祉サービス事業所の実際 (協議 演習) ・将来を見据えた支援とは ・自己研修課題のまとめ 講師: 発達相談支援センター所員	

- 留 意 点** ・全回連続受講が原則となります。
 ・受講対象は、特別支援教育コーディネーター養成研修修了者です。
 ・研修会場は、「北部アーチル」と「南部アーチル」です。内容によって場所が変わります。
 ・駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
 ・北部発達相談支援センター（北部アーチル）：仙台市泉区泉中央 2-24-1 (375-0110)
 ・南部発達相談支援センター（南部アーチル）：仙台市太白区長町南 3-1-30 (247-3801)

連 絡 先 教育センター (251-7441)

研修番号305 〈機関研修〉 **社会教育施設連携研修【市民図書館・泉図書館】**

ね ら い 図書館業務を通じて社会教育施設としての図書館の役割, 学校連携事業について学びます。

対象・定員 【希望】教諭・常勤講師（幼・小・中・高・特） 2名

回	実施日時	場 所	内 容	QJTに生きる力量
1	6月21日(火) 14:30～15:30	市民図書館	(講義) ・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明, 研修内容, 機関研修中の勤務について 講師: 市民図書館職員	授業構想 QJT推進・人材育成 地域連携 ネットワーク
2	7月26日(火) 8:30～17:00		(講義) ・図書館の業務 ・学校連携事業について (実践) ・開館準備 ・カウンター業務 講師: 市民図書館職員	
3	7月27日(水) 8:30～17:00		(実践) ・開館準備 ・カウンター業務 (見学) ・おはなし会 講師: 市民図書館職員	
4	7月28日(水) 8:30～17:00	泉図書館	(講義) ・子供図書室の役割について (実践) ・子供図書室視察 ・カウンター業務 ・研修のまとめ 講師: 泉図書館職員	

- 留 意 点** ・全回連続受講が原則となります。
 ・第1～3回は市民図書館, 第4回は泉図書館が会場です。
 ・駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
 ・市民図書館：仙台市青葉区春日町 2-1 せんだいメディアテーク内 (261-1585) 事務室 (3F)
 ・泉図書館：仙台市泉区泉中央 1-8-6 (375-6161)

連 絡 先 教育センター (251-7441)

研修番号306 〈機関研修〉 社会教育施設連携研修【仙台文学館】

ねらい 文学館の資料や宮城の文学者の展示情報を児童生徒の授業や自由見学に生かす効果的な活用方法を学びます。

対象・定員 【希望】教諭・常勤講師（小・中） 5名程度

回	実施日時	場 所	内 容	QJTに生きる力量
1	6月22日(水) 15:30～16:45	仙台文学館 会議室	(講義)・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明, 研修内容, 研修中の勤務について 講師: 仙台文学館学芸員	授業構想 QJT推進・人材育成 地或連携 ネットワーク
2	7月26日(火) 10:00～16:00		(講義)・仙台文学館の事業について (講義 演習)・教育との連携 ・企画展補助作業 講師: 仙台文学館学芸員	
3	7月27日(水) 10:00～16:00		(見学)・企画展及びおはなし会見学 (協議)・プログラム企画立案 講師: 仙台文学館学芸員	

留意点 ・全回連続受講が原則となります。
・駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関を利用してください。
・仙台文学館：仙台市青葉区北根2-7-1 (271-3020)

連絡先 教育センター (251-7441)

研修番号307 〈機関研修〉 社会教育施設連携研修【博物館・地底の森ミュージアム・縄文の森広場】

ねらい 総合的な学習の時間や社会科、図工・美術科の学習、学校行事等、様々な学校教育の場面で、より効果的な教育活動を展開できるように、活用方法や事前・事後指導の在り方などについて、館職員による講義や実習、グループ協議を通して学びます。

対象・定員 【希望】教諭・常勤講師（幼・小・中・高・特） 5名程度

回	実施日時	場 所	内 容	QJTに生きる力量
1	6月29日(水) 15:30～16:30	博物館	(講義)・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明, 研修内容, 機関研修中の勤務について 講師: 各館職員, 生涯学習課職員	授業構想 QJT推進・人材育成 地或連携 ネットワーク
2	8月3日(水) 9:30～16:30		(講義)・学校と博物館の連携について (実習)・授業プログラムの開発 (協議)・学校と博物館の連携について 講師: 仙台市博物館職員	
3	8月4日(木) 9:00～17:00	地底の森 ミュージアム	(講義)・施設の概要について ・事業について ・施設見学 (実技)・体験活動 ・事業の補助 講師: 仙台市富沢遺跡保存館職員	
4	8月5日(金) 9:00～17:00	縄文の森広場	(講義)・施設の概要について ・事業について ・施設見学 (実技)・来館者対応等の補助 ・体験メニュー実体験 (協議)・博物館活用について 講師: 仙台市縄文の森広場職員	

留意点 ・全回連続受講が原則となります。
・第1, 2回は仙台市博物館, 第3回は地底の森ミュージアム, 第4回は縄文の森広場が会場です。
・仙台市博物館：仙台市青葉区川内26番地 (225-3074)
・仙台市富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)：仙台市太白区長町南4-3-1 (246-9153)
・仙台市縄文の森広場：仙台市太白区山田上ノ台町10-1 (307-5665)

連絡先 教育センター (251-7441)

研修番号308 〈機関研修〉 社会教育施設連携研修【博物館・仙台市歴史民俗資料館】

ねらい 地域連携の意義を深め、生涯学習における社会教育施設の役割について学びます。

対象・定員 【希望】教諭・常勤講師（幼・小・中・高・特） 5名程度

回	実施日時	場 所	内 容	QJTに生きる力量
1	6月29日(水) 15:30～16:30	博物館	(講義)・事前研修(オリエンテーション) ・機関研修の趣旨説明, 研修内容, 機関研修中の勤務について 講師: 各館職員, 生涯学習課職員	授業構想 QJT推進・人材育成 地或連携 ネットワーク
2	8月3日(水) 9:30～16:30		(講義)・学校と博物館の連携について (実習)・授業プログラムの開発 ・プレゼン (協議)・学校と博物館の連携について 講師: 仙台市博物館職員	
3	8月4日(木) 9:00～16:55	歴史民俗資料館	(講義) ・生涯学習における社会教育施設の役割 (実習) ・受付業務, 資料整理, 公所郵送業務 (ワークショップ) 教材の掘り起こしと指導案作成及び検討等 講師: 仙台市歴史民俗資料館館長 西嶋 茂雄	
4	8月5日(金) 9:00～16:55		(講義)・教師と学芸員との協同の意義と可能性 (実習)・受付業務, 資料整理, 公所郵送業務 (ワークショップ) 模擬授業と事後検討会 講師: 仙台市歴史民俗資料館館長 西嶋 茂雄	

留意点 ・全回連続受講が原則となります。
・第1, 2回は博物館, 第3, 4回は歴史民俗資料館が会場です。
・歴史民俗資料館は、駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
・仙台市博物館：仙台市青葉区川内26番地 (225-3074)
・歴史民俗資料館：仙台市宮城野区五輪一丁目3-7(榴岡公園内) (295-3956)

連絡先 教育センター (251-7441)

研修番号309 〈機関研修〉 **博物館活用研修**

ね ら い 博物館の活用について講義や実技を通して学びます。
 対象・定員 **【希望】** 教諭・常勤講師（小・中・高・特） 50名

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	8月4日(木) 9:30～16:30	博物館講習室 博物館ホール	(講義 実技 見学) ・博物館資料を授業のねらいに生かす方法 ・もんきり遊び、天旗づくりなどの体験(予定) ・企画展「仙台市博物館 キャラクター大集合! (仮称)」解説と見学 講師: 博物館指導主事, 学芸員	授業構想 地域連携 ネットワーク

留 意 点 ・詳細は別途通知します。
 ・見学については無料です。
 ・体験内容により、材料費として100円程度当日集金する場合があります。
 連 絡 先 博物館 学芸普及室(225-3074)

研修番号310 〈機関研修〉 **博物館ミュージアムセミナー**

ね ら い 学芸員から博物館で開催される企画展、特別展の内容について解説を受け、実際に見学することにより、展覧会の内容について深く理解し、学校教育で活用することができるようになります。

対象・定員 **【希望】** 教諭・常勤講師（幼・小・中・高・特） 各150名

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	4月30日(土) 10:00～11:30	博物館講習室 博物館ホール	(解説 見学) ・特別展「国立カイロ博物館所蔵 ～黄金のファラオと大ピラミッド展」の解説 講師: 博物館学芸員	授業構想 地域連携 ネットワーク
2	7月16日(土) 10:00～11:30		(解説 見学) ・企画展「イチ押し收藏品 主役・わき役キャラクター大集合! (仮称)」の解説 講師: 博物館学芸員	
3	9月17日(土) 10:00～11:30		(解説 見学) ・特別展「雪舟と宮本武蔵と水墨画—岡山県立美術館・珠玉の名品—」の解説 講師: 博物館学芸員	
4	9月24日(土) 10:00～11:30		(解説 見学) ・企画展「斎藤報恩会寄贈資料展 (仮称)」の解説 講師: 博物館学芸員	
5	11月12日(土) 10:00～11:30		(解説 見学) ・企画展「斎藤報恩会寄贈資料展 (仮称)」の解説 講師: 博物館学芸員	

留 意 点 ・詳細は別途通知します。
 ・見学については無料です。
 ・日程及び展覧会名称については変更になる場合があります。
 連 絡 先 博物館 学芸普及室(225-3074)

研修番号311 〈機関研修〉 **泉岳自然ふれあい館プログラム体験会**

ね ら い 泉岳自然ふれあい館のプログラムの体験を通して、野外活動指導者としての基本的な知識や技能を身に付けるとともに、活動エリアの安全確認を行います。

対象・定員 **【希望】** 全教職員、利用団体の引率者及び野外活動の指導者

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	5月7日(土) 9:00～15:30	泉岳自然 ふれあい館と その周辺エリア	① 登山の体験(活動エリアの紹介) ② テント設営・撤収の体験 ③ 参加者の希望する活動(沢登り、オリエンテーリング、樹木と出会う森体験等)	授業構想
2	6月4日(土) 9:00～15:30			
3	6月26日(日) 9:00～15:30			
4	7月17日(日) 9:00～15:30			
5	9月11日(日) 9:00～15:30			
6	1月7日(土) 9:00～15:30		① 歩くスキーの体験 ② スノーシューの体験	

留 意 点 ・詳細は別途通知します。
 連 絡 先 泉岳自然ふれあい館(379-2151)

研修番号312 〈機関研修〉 泉岳自然ふれあい館野外活動体験研修

ねらい 泉岳自然ふれあい館のプログラムを実際に体験しながら、指導の際のポイントを身に付けるとともに、活動エリアの安全確認を行い、野外活動指導者としてのスキルと知識を高めます。

対象・定員【希望】 全教職員、利用団体の引率者及び野外活動の指導者

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	5月8日(日) 9:00～15:30	泉岳自然 ふれあい館と その周辺エリア	Aプラン：野外炊事等の活動プログラム Bプラン：キャンプファイヤー及びレクリエーション等の活動プログラム	授業構想
2	6月5日(日) 9:00～15:30		Aプラン：登山等の活動プログラム Bプラン：野外炊事等の活動プログラム	
3	8月18日(木) 9:00～ 8月19日(金) 15:00～		(宿泊研修) ※各日帰り参加可能 夏季期間にできる活動プログラム 1日目：野外炊事、テント設営、キャンプファイヤー等 2日目：テント撤収、オリエンテーリング型ゲーム等	
4	10月11日(火) 9:00～15:30		Aプラン：登山等の活動プログラム Bプラン：キャンプファイヤー及びレクリエーション等の活動プログラム	
5	1月6日(金) 9:00～15:30		Aプラン：歩くスキー Bプラン：スノーシュー等雪上プログラム	

留意点 ・詳細は別途通知します。

連絡先 泉岳自然ふれあい館 (379-2151)

研修番号313 〈機関研修〉 大倉ふるさとセンター自然体験活動研修

ねらい 児童の自然体験活動の充実を図るため、大倉ふるさとセンターと連携して、自然体験活動やワークショップを通して、里山のすばらしさを体験し、自然体験学習の指導方法について学びます。

対象・定員【希望】 教諭(小) 30名

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	8月3日(水) 9:30～16:00	仙台市大倉 ふるさとセンター とその周辺	・講義と体験「実践で役立つ体験学習のポイント」 ・自然体験「カヌー体験 等」 講師：大倉ふるさとセンター職員他	授業構想

連絡先 大倉ふるさとセンター (391-2060)

研修番号314 〈機関研修〉 地底の森ミュージアム・仙台市縄文の森広場教員研修

ねらい 地底の森ミュージアムと仙台市縄文の森広場の事業内容と利用方法について、実地研修を通して理解を深め、学校教育の一環としての博物館利用について館職員とともに考えます。

対象・定員【希望】 教諭・養護教諭・常勤講師(小・中) 20名

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	8月3日(水) 9:00～17:00	地底の森 ミュージアム・ 仙台市 縄文の森広場	(講義 演習 協議) ・両施設の展示見学、体験メニューの実体験、博物館活用について 講師：地底の森ミュージアム職員・仙台市縄文の森広場職員	授業構想

留意点 ・詳細は申込者に通知します。

- ・集合は、地底の森ミュージアムです。(所在：太白区長町南 4-3-1)、解散は仙台市縄文の森広場(所在：太白区山田上ノ台町 10-1)の予定です。(変更となる場合もございます。)
- ・両施設間の移動は、原則的に参加者各自で行っていただきます。
- ・見学、体験とも無料です。

連絡先 地底の森ミュージアム (246-9153)、仙台市縄文の森広場 (307-5665)

研修番号315 〈機関研修〉 文学館活用研修

ねらい 文学館の資料を活用した授業づくりを検討したり、展示やおはなし会の見学などを通して、文学館の効果的な活用方法を学びます。

対象・定員【希望】 教諭・常勤講師(小・中) 5名程度

回	実施日時	場 所	内 容	QTに生きる力量
1	8月3日(水) 9:30～16:30	仙台文学館 会議室	(解説 見学 体験 演習) ・仙台文学館の事業概要説明 ・常設展、企画展、おはなし会の見学 ・資料や展示を授業で活用する方法を検討 講師：仙台文学館学芸員	授業構想

留意点 ・詳細は別途通知します。

- ・駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関を利用してください。

連絡先 仙台文学館 学芸室 (271-3020)